

# 令和7年度 スキルアップセミナー関東

時代が変わる今だからこそ、  
私たちの想いを伝えたい。

6/19(木) 24(火)

WEB配信

聴講無料

事前申込



横浜環状南線 (栄IC-JCT(仮称))



鹿島港 洋上風力基地港湾



荒川第二調節池 排水門



国営常陸海浜公園



よこはま新港合同庁舎

## 【参加機関】

関東地方整備局

管内地方公共団体(都県政令市)

関係機関(水資源機構、都市再生機構、日本水道協会、  
日本下水道事業団、NEXCO東日本・中日本、  
首都高速道路)

# 令和7年度 スキルアップセミナー関東プログラム

発表論文・プログラム詳細は下記ホームページをご覧ください。

<https://www.ktr.mlit.go.jp/soshiki/index00000022.html>

## 6/19(木) 9:45~16:45

9:45~ 主催者挨拶 関東地方整備局長 岩崎 福久

10:00 ~16:45 課題研究発表

各部門毎の会場にて同時進行  
(全116課題)

(12:00 ~13:05) 休憩・昼休

一般(安全・安心)  
一般(活力)  
インフラDX  
イノベーション  
アカウンタビリティ  
行政マネジメント  
ポスターセッション  
※12:00~15:30

6/20(金) 15:00 関東地方整備局HPで結果発表

## 6/24(火) 14:15~15:15

14:15 ~ 15:15 特別講演 講師 長山 智則 氏

特別講演

## 『インフラDXの具現化』

東京大学大学院工学系研究科 教授

### 講師 長山 智則

ご経歴

東京大学工学部土木工学科、同大学院工学系研究科社会基盤工学専攻を経て、米国イリノイ大学アーバナシャンペーン校土木環境工学専攻Ph.D.東京大学大学院工学系研究科助手、助教、講師、准教授、教授を務める。

専門は橋梁振動、インフラモニタリング。



我が国のインフラは老齢化が進んでおり、効率的で効果的な維持管理が求められます。建設から50年未満で事故に繋がる例がある一方で、生活や経済を長期間支え続ける100年橋梁があるように、劣化の進行は個別要因に左右され局所的で、それを把握しにくいことが問題を難しくしています。本講演では、関東地方整備局と取り組んだ舗装点検の高度化を中心に紹介し、DX技術を活用した維持管理の具現化について考えます。

# 聴講者へのご案内

## 事前申込

一般聴講の方は、オンラインでの聴講のみとさせていただきます。

聴講希望の方は、6月12日(木)17:00までに下記申込フォームにより事前申込みください。

<https://www2.ktr.mlit.go.jp/cgi-bin/form.cgi?form.template=skillup2025.html>

## WEB聴講

- ①WEB配信のURLは、開催日までに、メールでお送りいたします。
- ②6/17(火)17:00までにURLのご案内メールが届かなかった場合には、大変恐れ入りますが、事務局あてにお問い合わせをお願いいたします。

## CPD単位

**【注】CPD単位取得希望者については会場での聴講が必須です。**

- ①本セミナーは、公益社団法人土木学会認定の継続教育(CPD)プログラムです。  
取得単位 = 4.9(6/19(木)のみ)
- ②会場内受付にて受講証明書をお渡しします。CPDの記録の登録については各自で行ってください。
- ③他団体へ申請される方は他団体のルールに従っていただきます。なお、他団体のルールや運営方法については対応いたしかねます。